

行政計画等における商店街の振興方針と支援策等

**振興方針**  
 枕崎市総合振興計画  
**基本理念**  
 活力ある地場産業に支えられ人情味あふれる安らぎと潤いのある枕崎市  
**目標**:豊かな暮らしと地域社会を支える商工業の振興  
**施策①**商店街の整備  
**施策②**商店経営の近代化促進  
**施策③**魅力的な商店街の形成  
**支援策**  
 1 食のまち魅力発信事業  
 2 通り会街路灯維持費補助  
 3 がんばる商店街支援事業  
 4 商店等新規出店支援事業

商圈人口等の見通し(商圈分析)

商圈人口(1km圏)・経済センサス

	総人口	65歳以上
2015年	22,046人	7,992人(36%)
2030年	16,706人	7,587人(45%)
2045年	11,612人	5,807人(50%)

□ 商圈分析  
 店舗構成、周辺人口構成、自動車有無

■ ターゲット層設定  
 枕崎市に在住する住民。主に高齢者、子育て世代、子供(3世代)、外国人。

まち(商店街)の将来像に対する検証(CHECK3)

	視点	状態(例)
まちの機能	人口	<行政> <商店街>
	コミュニティ	<行政>住民・自治会へのアンケートによるコミュニティが活性化したとの認識〇%。 <商店街>
商いの機能	売上・来街者等	<商店街>通り会員のうち〇%が売上増。
	店揃え・業種ミックス	<商店街>新規出店〇件、新規業種〇件、廃業〇件
	組合員のコミュニケーション・状況確認	<商店街>通り会主催のイベント〇件。役員会・実行委員会等会議〇回。
	情報発信・ブランド化	

日常感覚、定点観測、アンケート、ヒアリング、統計データ等分析(商店街診断)

枕崎市通り会連合会

将来像(戦略目標)(PLAN)

誰でも安心して暮せ、外国人と共生できる街になる

居住者向け

来街者(海外を含む)向け

誰でも安心して暮らせるコミュニティづくり

商店街の魅力アップ創造と情報発信活動

海外交流と共生社会創造

ビジョンの実践(事業実施)(DO)

- 鯉が泳ぐ美化活動の実施
- 鯉街路灯の設置促進
- 高齢者の生き甲斐充足事業 昔暮らしの伝承
- Be well枕崎 三世代アート展の開催
- 商店街新グルメフェアの開催(船人めし他)
- 枕崎鯉マルシェの開催(会員・近隣農家)
- 高齢者見守り事業(美商女隊結成)
- 国際化推進事業(誰でも子育てできる環境形成)
- 会員間の連携強化
- 鹿児島水産高校への外国人留学生受け入れ実現
- 国際鯉フェスティバル開催

会員・通り会内の事業者の評価・反応等(CHECK1)

- みなと祭開催前には通りの清掃を行っている
- 今後は維持することすら大変になるかもしれない
- 高齢者が元気な街づくり(人生経験・スキルの伝承)
- 枕崎国際芸術賞展入選作品(モニュメント)展示・活用
- コンカツ(昆鯉)プロジェクト、Show-1グルメグランプリ、出汁愛鍋の広報
- 参加店舗数のチェック
- 参加者の満足度チェック(参加人数 人)
- 育児がしやすく、戻ってきたい街づくり
- 店舗間の協力体制の強化 店主の協調度チェック
- 外国人居住者との積極的な交流(県下の市における外国人人口割合1位)
- 外国人居住者の快適度をチェック

顧客・住民・自治会・行政等の反応(CHECK2)

- 住民認知度: 47.8%  
【住民コメント】草取りや掃除が必要
- 住民認知度: 48.5%  
【住民コメント】夕方になると街灯の少なさに不安を感じる
- 広報 商店主の認知度: % 住民の認知度: %
- 住民認知度: 75.2%
- 住民認知度: %
- 見守り活動認知度: 31.0%  
【高齢者への配慮】満足、まあ満足: 26.2% どちらでもない: 54.2% 不満、やや不満: 19.6%  
【住民コメント】公園等子供が遊べる場の充実
- 地域住民の認知度: %
- 地域住民の認知度: %
- 地域住民の認知度: %

今後の事業の改善・見直し・進化(ACTION)

- 旬な鯉が街を泳ぐ・鯉かんむりフェスの開催
- 街路灯のチェック・広告看板の取り換え
- 市民交流の促進・健康増進のためのウォーキングモニュメントツアー開催
- 高齢者と子育て世代の連携事業実施
- 三島カップグルメフェス開催・「ビールと鯉と焼酎フェス」・新酒まつりとのコラボレーション
- 店主の鯉マイスターの取得促進及びかつおサポーターの養成、鯉売りこみ隊の結成
- 歴史をつなごう・伝統を守り育てる
- 犯罪防止率の低下・婦人部の連携、防犯カメラの設置促進
- 各通り及び店舗にWifiの設置促進
- 新たな絆で枕崎を世界へ広めよう。世界鯉フェス開催
- 外国人との交流事業・鯉に魅せられた人と国同士の連携